日本史 外交史（欧米との関係） 確認問題集

全19問　／　解答・解説は後半　　名前 _____

記事「日本史 外交史（欧米）まとめ｜南蛮貿易・鎖国・開国・条約改正」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部　一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 1543年、種子島に漂着したポルトガル人から鉄砲2挺を買い取った種子島の領主はだれか。

2 1582年、九州のキリシタン大名が伊東マンショら4人の少年をローマ教皇のもとへ送った使節を何というか。

3 1600年に豊後に漂着したリーフデ号の乗組員で、徳川家康の外交・貿易の顧問となったイギリス人はだれか。

4 1613年、仙台藩主伊達政宗がスペインとローマに送った家臣はだれか。

5 江戸時代、オランダ船が入港するたびに、商館長がまとめて幕府に提出した海外の情報を何というか。

6 「鎖国」の時代に、朝鮮との交流の窓口となったのはどこか。

7 1825年に出された、清とオランダ以外の外国船をためらわずに撃退するよう命じた法令は何か。

8 1856年に初代総領事として下田に着任し、通商条約の締結をせまったアメリカの外交官はだれか。

9 1866年、関税を5%を基準とする低い税率に改めた取り決めを何というか。

10 1951年、サンフランシスコ平和条約と同じ日に結ばれ、独立後もアメリカ軍が日本に駐留することを決めた条約は何か。

第2部　正誤問題

次の文ア〜エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 安土桃山時代から江戸時代初期の対外関係について。

ア　南蛮貿易では、日本は中国産の生糸などを輸入し、銀を輸出した。
イ　1587年のバテレン追放令で、豊臣秀吉は南蛮貿易も禁止した。
ウ　1604年に糸割符制度が設けられた。
エ　1612年に直轄領、翌年に全国に禁教令が出された。

12 江戸時代後期の対外関係について。

ア　1792年、ラクスマンが大黒屋光太夫らを連れて根室に来航した。
イ　1808年、イギリスの軍艦フェートン号が長崎に侵入した。
ウ　1837年、イギリス船モリソン号が打払令にもとづいて砲撃された。
エ　1842年、幕府は天保の薪水給与令を出した。

13 幕末の条約について。

ア　日米和親条約では、下田と箱館が開かれた。
イ　日米和親条約では、日本はアメリカに一方的な最恵国待遇を与えた。
ウ　日米修好通商条約で、日本は領事裁判権を認めた。
エ　日米修好通商条約は、天皇の勅許を得てから調印された。

14 条約改正について。

ア　井上馨は、鹿鳴館に代表される欧化政策で交渉を進めようとした。
イ　大隈重信は、外国人判事を大審院に限って任用する案をまとめた。
ウ　陸奥宗光のもとで、関税自主権が完全に回復した。
エ　青木周蔵は、大津事件の責任をとって辞任した。

第3部　年代の並べ替え

次のア〜エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 「鎖国」への過程を年代順に並べなさい。

ア　ポルトガル船の来航を禁止した。
イ　中国船以外の外国船の寄港地を平戸・長崎に限った。
ウ　スペイン船の来航を禁止した。
エ　日本人の海外渡航・帰国を全面的に禁止した。

16 幕末の出来事を年代順に並べなさい。

ア　日米修好通商条約が調印された。
イ　ペリーが浦賀に来航した。
ウ　改税約書が結ばれた。
エ　四国連合艦隊が下関の砲台を占領した。

17 近代の条約・会議を年代順に並べなさい。

ア　ポーツマス条約が結ばれた。
イ　日英同盟が結ばれた。
ウ　ワシントン会議で四カ国条約が結ばれた。
エ　日英通商航海条約が調印された。

第4部　論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 江戸幕府が「鎖国」の体制をつくった理由と、その内容を120字程度で説明しなさい。

19 明治時代の条約改正が1894年に一部実現した背景と、その内容を120字程度で説明しなさい。

日本史 外交史（欧米との関係） 確認問題集　解答・解説

第1部　一問一答

1 **種子島時堯**

鉄砲はまもなく各地で作られるようになり、戦国大名の戦い方を変えました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／戦国〜安土桃山時代

2 **天正遣欧使節**

大友宗麟・有馬晴信・大村純忠が、宣教師バリニャーノのすすめで送りました。一行は1590年に帰国しています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／戦国〜安土桃山時代

3 **ウィリアム＝アダムズ（三浦按針）**

オランダ人ヤン＝ヨーステンとともに家康に仕えました。オランダは1609年、イギリスは1613年に平戸に商館を開きました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代初期

4 **支倉常長**

慶長遣欧使節と呼ばれます。江戸時代の初め、家康のもとで海外との交流はまだ積極的でした。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代初期

5 **オランダ風説書**

「鎖国」のもとでも、幕府はこの報告を通じて世界の動きを知ることができました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代初期

6 **対馬（宗氏）**

長崎（オランダ・中国）、対馬（朝鮮）、薩摩（琉球）、松前（アイヌ）の4つを「四つの口」と呼びます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代初期（四つの口の表）

7 **異国船打払令**

フェートン号事件など外国船の接近が重なったことが背景です。1842年に天保の薪水給与令に改められました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代後期

8 **ハリス**

1858年、大老井伊直弼は勅許を得ないまま日米修好通商条約に調印しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／幕末

9 **改税約書**

前年の1865年には、条約の勅許が出されています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／幕末

10 **日米安全保障条約**

サンフランシスコ平和条約は吉田茂を全権として48か国と調印され、1952年4月に発効しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／戦後

第2部　正誤問題

11 **イ**

バテレン追放令は宣教師に国外退去を命じましたが、貿易は認めたため、禁教は徹底しませんでした。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／戦国〜安土桃山時代、入試で狙われるポイント

12 **ウ**

モリソン号はアメリカの商船です。この砲撃を批判した渡辺崋山・高野長英が1839年に処罰されました（蛮社の獄）。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代後期

13 **エ**

老中堀田正睦は勅許を得られず、大老井伊直弼が勅許を得ないまま調印しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／幕末、比べて覚える

14 **ウ**

陸奥宗光のもとで1894年に実現したのは領事裁判権の撤廃です。関税自主権の完全な回復は、1911年の小村寿太郎のときです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治時代、入試で狙われるポイント

第3部　年代の並べ替え

15 **イ→ウ→エ→ア**

寄港地の制限（1616年）→スペイン船の来航禁止（1624年）→日本人の海外渡航・帰国の全面禁止（1635年）→ポルトガル船の来航禁止（1639年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代初期（表）

16 **イ→ア→エ→ウ**

ペリー来航（1853年）→日米修好通商条約（1858年）→四国艦隊下関砲撃事件（1864年）→改税約書（1866年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／幕末

17 **エ→イ→ア→ウ**

日英通商航海条約（1894年）→日英同盟（1902年）→ポーツマス条約（1905年）→四カ国条約（1921年）の順です。四カ国条約で日英同盟は廃棄されました。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

第4部　論述問題

18 **解答例：幕府はキリスト教を支配への脅威とみなし、禁教令を出して禁教を徹底した。宣教師の潜入を防ぐため、外国船の寄港地を制限し、スペイン船、ついでポルトガル船の来航を禁じ、日本人の海外渡航も禁止した。オランダとは長崎の出島で、幕府の管理のもとで貿易を続けた。**

採点のポイント：①キリスト教を脅威とみなした禁教、②外国船の来航の制限（スペイン船→ポルトガル船）、③日本人の海外渡航の禁止、④オランダとの出島での管理貿易、の4点が入っているか。「四つの口」にふれられるとさらによい。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代初期、論述で使える要点

19 **解答例：欧化政策や外国人判事の任用案への反発で交渉は失敗が続いたが、ロシアの東アジア進出を警戒するイギリスが日本に好意的になった。外相陸奥宗光は1894年に日英通商航海条約を調印し、領事裁判権を撤廃して関税自主権の一部を回復した。**

採点のポイント：①井上・大隈の失敗（欧化政策・外国人判事への反発）、②ロシアを警戒するイギリスの態度の変化、③陸奥宗光と日英通商航海条約、④領事裁判権の撤廃と関税自主権の一部回復、の4点が入っているか。1911年の小村寿太郎による完全回復まで書けるとさらによい。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明治時代、論述で使える要点

問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。